

#2
9-17-02 2614

PATENT

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re application of: Masaru SUGANO et al.

Serial No.: 09/863,352

RECEIVED

AUG 23 2001

Filed: May 24, 2001

Technology Center 2600

For: DESCRIPTION SCHEME AND BROWSING METHOD FOR AUDIO/VIDEO SUMMARY

CLAIM FOR PRIORITY UNDER 35 U.S.C. 119

Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

August 21, 2001

Sir:

The benefit of the filing date of the following prior foreign application is hereby requested for the above-identified application, and the priority provided in 35 U.S.C. 119 is hereby claimed:

Japanese Appln. No. 2000-157154, filed May 26, 2000

In support of this claim, the requisite certified copy of said original foreign application is filed herewith.

It is requested that the file of this application be marked to indicate that the applicants have complied with the requirements of 35 U.S.C. 119 and that the Patent and Trademark Office kindly acknowledge receipt of said certified copy.

In the event that any fees are due in connection with this paper, please charge our Deposit Account No. 01-2340.

Respectfully submitted,

ARMSTRONG, WESTERMAN, HATTORI
MCLELAND & NAUGHTON, LLP

Mel R. Quintos
Attorney for Applicants
Reg. No. 31,898

Atty. Docket No.: 010661
Suite 1000, 1725 K Street, N.W.
Washington, D.C. 20006
Tel: (202) 659-2930
Fax: (202) 887-0357
MRQ/sks



日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日
Date of Application:

2000年 5月26日

出 願 番 号
Application Number:

特願2000-157154

出 願 人
Applicant(s):

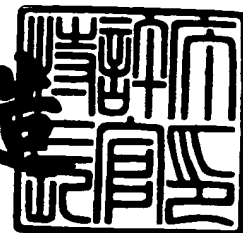
ケイディーディーアイ株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 5月31日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



【書類名】	特許願
【整理番号】	0780KDD
【提出日】	平成12年 5月26日
【あて先】	特許庁長官殿
【国際特許分類】	H04N 7/24
【発明者】	
【住所又は居所】	埼玉県上福岡市大原 2 - 1 - 1 5 株式会社ケイディ ィ研究所内
【氏名】	菅野 勝
【発明者】	
【住所又は居所】	埼玉県上福岡市大原 2 - 1 - 1 5 株式会社ケイディ ィ研究所内
【氏名】	中島 康之
【発明者】	
【住所又は居所】	埼玉県上福岡市大原 2 - 1 - 1 5 株式会社ケイディ ィ研究所内
【氏名】	柳原 広昌
【発明者】	
【住所又は居所】	埼玉県上福岡市大原 2 - 1 - 1 5 株式会社ケイディ ィ研究所内
【氏名】	米山 暁夫
【発明者】	
【住所又は居所】	埼玉県上福岡市大原 2 - 1 - 1 5 株式会社ケイディ ィ研究所内
【氏名】	加藤 晴久
【特許出願人】	
【識別番号】	000001214
【氏名又は名称】	ケイディディ株式会社

【代理人】

【識別番号】 100084870

【弁理士】

【氏名又は名称】 田中 香樹

【選任した代理人】

【識別番号】 100079289

【弁理士】

【氏名又は名称】 平木 道人

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 058333

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 オーディオ／ビデオの概要情報の構成および閲覧方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 オーディオ情報またはビデオ情報またはオーディオビデオ情報（以下、「オーディオ／ビデオ」と記す）の概要情報の構成において、

圧縮または非圧縮の単一または複数のオーディオ／ビデオコンテンツに関して、該コンテンツの一部である単一または複数の主要なクリップからオーディオ／ビデオスライドを構成し、該オーディオ／ビデオスライドの構成要素を時系列に記述し、該記述に該構成要素の原オーディオ／ビデオコンテンツとの関係に関する記述を含めることを特徴とするオーディオ／ビデオの概要情報の構成。

【請求項 2】 請求項 1 のオーディオ／ビデオの概要情報の構成において、該オーディオ／ビデオスライドは原オーディオ／ビデオコンテンツに含まれる単一または複数の区間を構成要素とし、該区間の区間情報をオーディオ／ビデオスライドとして時系列に記述することを特徴とするオーディオ／ビデオの概要情報の構成。

【請求項 3】 請求項 1 のオーディオ／ビデオの概要情報の構成において、該オーディオ／ビデオスライドは原オーディオ／ビデオコンテンツに含まれる単一または複数の区間を構成要素とし、該区間を個別のファイルとし、該ファイルの集合をオーディオ／ビデオスライドとして時系列に記述することを特徴とするオーディオ／ビデオの概要情報の構成。

【請求項 4】 請求項 1 のオーディオ／ビデオの概要情報の構成において、該オーディオ／ビデオスライドは原オーディオ／ビデオコンテンツに含まれる単一または複数の区間を構成要素とし、単一または複数のオーディオ／ビデオコンテンツに関する該区間の集合を単一の合成ファイルとして統合し、

該合成ファイルの個別区間をオーディオ／ビデオスライドとして時系列に記述することを特徴とするオーディオ／ビデオの概要情報の構成。

【請求項 5】 請求項 1 ないし 4 のいずれかのオーディオ／ビデオの概要情報の構成において、

原オーディオ／ビデオコンテンツが複数の場合、前記構成要素の原コンテンツ

との関係に関する記述は、該構成要素が属する原コンテンツの識別子に関する記述であることを特徴とするオーディオ／ビデオの概要情報の構成。

【請求項 6】 請求項 1 ないし 4 のいずれかのオーディオ／ビデオの概要情報の構成において、

原オーディオ／ビデオコンテンツが単一の場合、前記構成要素の原コンテンツとの関係に関する記述は、該構成要素の原コンテンツにおける時間区間に関する記述であることを特徴とするオーディオ／ビデオの概要情報の構成。

【請求項 7】 請求項 1 ないし 6 に記載のオーディオ／ビデオの概要情報の構成を用いた閲覧方法において、

該オーディオ／ビデオスライドの構成要素に関連付けられた原オーディオ／ビデオコンテンツと、該オーディオ／ビデオスライドの相互遷移を行うことを特徴とする閲覧方法。

【請求項 8】 請求項 1 ないし 6 に記載のオーディオ／ビデオの概要情報の構成を用いた閲覧方法において、

オーディオ／ビデオスライドの再生中に、該オーディオ／ビデオスライド構成要素の記述情報を用いて、該当する原オーディオ／ビデオコンテンツに関して記述されている情報の表示を可能としたことを特徴とする閲覧方法。

【請求項 9】 請求項 1 ないし 6 に記載のオーディオ／ビデオの概要情報の構成を用いた閲覧方法において、

オーディオ／ビデオスライドの再生中に、該オーディオ／ビデオスライド構成要素の記述情報を用いて、該当する原オーディオ／ビデオコンテンツの再生を行うことを特徴とする閲覧方法。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、圧縮または非圧縮のオーディオ／ビデオ情報（オーディオ情報またはビデオ情報またはオーディオビデオ情報）の概要情報（サマリ）の構成および閲覧方法に関し、特に、オーディオ／ビデオデータに付加する特徴情報としての概要情報の構成および閲覧方法に関するものである。また、本発明は、時系列に

並んだオーディオ／ビデオの小区間またはフレームを連続的に提示することにより、オーディオ／ビデオ情報の高速且つ高機能な閲覧を提供することが可能なオーディオ／ビデオ情報の概要情報の構成および閲覧方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

オーディオビデオ情報の特徴記述については、現在ISO（国際標準化機構）／IEC（国際電気標準会議）におけるMPEG-7（Motion Picture Coding Experts Group phase 7）で標準化が行われている。MPEG-7では、圧縮または非圧縮のオーディオビデオ情報に対して、効率的な検索を可能とするためのコンテンツ記述子、記述スキーム及び記述定義言語について標準化が行われている。

【0003】

MPEG-7では様々な観点からの特徴記述が標準化されているが、その項目の中で、例えばオーディオビデオ情報の高速且つ効率的な閲覧を可能とするサマリ記述については、オーディオビデオ情報を意味的な区分に分割したショットに対して、ショットを代表する画像（キーフレーム）を特定し、その時間位置またはファイル名を特徴記述ファイルに時系列に記述する方式が規定されている。

【0004】

アプリケーション側では例えば、これを連続的に一定または任意の時間間隔で提示することにより、スライドショーのような高速な閲覧を可能とし、オーディオビデオ情報の概要把握を提供することができる。以下では、このようなサマリを「スライドサマリ」と呼ぶ。

【0005】

図8及び図9を参照して、従来のスライドサマリ情報記述方式について説明する。図8は、あるメディアファイルのスライドサマリを構成し、スライドサマリの記述を行うための一例について説明している。まず、オーディオやビデオなどのメディアファイル（ここではビデオを想定する）が入力されると、ショットまたはシーン検出アルゴリズムにより、第1のショットまたはシーンが定義される。このショットまたはシーンに対して、キーフレーム検出アルゴリズムを適用することにより、第1のショットまたはシーンにおけるキーフレームが決定する。

【0006】

決定されたキーフレームの原メディアファイルでの位置が、ファイル先頭からのフレーム番号またはファイル先頭からの時間コードなどにより「メディア時間」としてスライドサマリファイルに記述される。ただし、スライドサマリ記述ファイルにおいては、各スライド要素の先頭にスライド要素ヘッダが記述されている。また、オプションにより、上記で決定されたキーフレームを別ファイルとして保存する場合には、保存したキーフレームファイル名を「スライド要素ファイル名」としてスライドサマリ記述ファイルに記述する。

【0007】

これが第1のショットまたはシーンに対するスライド構成要素を記述するための手順であり、これらの手順を、メディアファイルの最後のショットまたはシーンまで繰り返す。なお、スライドの構成要素数を減少させるために、メディアファイルでのショット／シーン検出時に、適宜時間的なサブサンプリングを行うこともできる。

【0008】

図9(a)～(b)は、図8で示した従来のスライドサマリ記述におけるあるスライドサマリの例を示している。オリジナルのコンテンツに対して、先頭からシーン1、シーン2、シーン3、…が定義され、それぞれオリジナルでの区間が時間コードとして、図9(a)(b)のように定義されているものとする。また、スライドの構成要素は、それぞれのシーンに対して時間コードまたは外部ファイル名として同図(a)(b)のように与えられているとする。これらのスライド構成要素の、オリジナルコンテンツにおける時間コードが、「メディア時間」として記述される。

【0009】

図9(c)にスライドサマリの実際の記述例を示す。このコンテンツのスライドサマリは、まずKeyFrame1、KeyFrame2、KeyFrame3、…と時系列に連続して表示される。それぞれの構成要素の表示時間としては、一定時間を選択したり、各シーンの長さに比例した時間を割り当てたり、予め設定されたシーンの優先度などに基づいて決定された時間を割り当てたりすることができる。

【0010】

このように、従来技術ではスライド構成要素がオリジナルコンテンツのどの部分に属するかという情報は記述されるが、各スライド構成要素が属するシーンの時間区間などを記述する枠組みは存在しない。

【0011】

【発明が解決しようとする課題】

従来のオーディオビデオ情報に関する特徴記述のうち、上記のスライドサマリ記述については、オーディオビデオ情報であってもキーフレームとしての視覚情報のみしか規定されていない。例えば、オーディオビデオ情報のオーディオ部分、またはオーディオ単独の情報としての音楽情報に関して、キーフレームに相当する要素（例えば、キーオーディオクリップ）を時系列に記述するという規定はない。

【0012】

また、スライドの構成要素としてのキーフレームを記述する記述スキームについては、該当するキーフレームの、原オーディオビデオ情報における時間位置を記述することはできるが、例えばスライドとして表示されているキーフレームに対して、そのキーフレームが含まれるショットへ遷移するなど、スライドの構成要素から原コンテンツにおける時間位置へのリンクは存在しない。また、複数のメディアファイルで1つのコンテンツと見なせるものに対して、同様にスライドの構成要素から原メディアファイルの場所やファイル名を指定するリンクは存在しない。

【0013】

本発明の目的は、上記のような従来技術の問題を解決するため、単一または複数のオーディオビデオコンテンツの一部（小区間またはフレーム）を構成要素とするスライドサマリの記述において、構成要素からオリジナルのコンテンツへのリンクを指定するための原コンテンツの時間位置または場所（ファイル名）に関する記述を付加することにより、例えばあるスライドの再生中に該当する原コンテンツへ遷移することを可能とした、オーディオ／ビデオ情報の概要情報の構成および閲覧方法を提供することにある。

【 0 0 1 4 】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明は、圧縮または非圧縮（例えば、MPEGまたはPCM）のオーディオ、ビデオまたはオーディオビデオの概要情報の構成において、単一または複数のオーディオビデオコンテンツに関して、それらのコンテンツの一部である主要なオーディオクリップまたはビデオクリップを配置したものをスライドサマリとして構成し、該スライドサマリの構成要素であるオーディオクリップまたはビデオクリップを時系列に記述するようにした点に特徴がある。

【 0 0 1 5 】

また、本発明は、上記スライドサマリの構成要素を、原コンテンツに含まれる単一または複数のオーディオまたはビデオ区間として構成し、該区間をスライドサマリとして時系列に記述するようにした点に特徴がある。

【 0 0 1 6 】

また、本発明は、上記スライドサマリの構成要素を、原コンテンツに含まれる単一または複数のオーディオまたはビデオ区間として構成し、該区間を個別のファイルとして保存し、該ファイルの集合をスライドサマリとして時系列に記述するようにした点に特徴がある。

【 0 0 1 7 】

また、本発明は、上記スライドサマリの構成要素を、原コンテンツに含まれる単一または複数のオーディオまたはビデオ区間として構成し、該区間を予め個別のファイルとして書き出し、該ファイルの集合を単一または複数のオーディオビデオコンテンツに関する単一の合成ファイルとして統合し、該合成ファイルの該当区間をスライドサマリとして時系列に記述するようにした点に特徴がある。

【 0 0 1 8 】

また、本発明は、上記のいずれかのスライドサマリにおいて、複数の原オーディオビデオファイルに関するスライド構成要素の記述に、それぞれのスライド構成要素が属する識別子（ファイル名など）を記述するようにした点に特徴がある。

【0019】

また、本発明は、単一のオリジナルのオーディオまたはビデオファイルに関するスライド構成要素の記述に、それぞれのスライド構成要素が属する該ファイルにおける時間区間を記述するようにした点に特徴がある。

【0020】

また、本発明は、各スライド構成要素に関連付けられたオリジナルのオーディオまたはビデオコンテンツと、該スライドの相互遷移を行えるようにした閲覧方法に特徴がある。

【0021】

また、本発明は、オーディオ／ビデオスライドの再生中に、該オーディオ／ビデオスライド構成要素の記述情報を用いて、該当する原オーディオ／ビデオコンテンツに関して記述されている情報の表示を可能とした閲覧方法に特徴がある。

【0022】

さらに、本発明は、オーディオ／ビデオスライドの再生中に、該オーディオ／ビデオスライド構成要素の記述情報を用いて、該当する原オーディオ／ビデオコンテンツの再生を行うことを可能とした閲覧方法に特徴がある。

【0023】

本発明によれば、単一または複数のオーディオビデオコンテンツに関して、それぞれに属する主要なオーディオまたはビデオクリップを構成要素とし、これらを時系列に配置したスライドサマリを効率的に記述することによって、オーディオビデオ情報の高速な閲覧が可能となる。また、スライドサマリから原コンテンツへのリンクを記述することにより、より高機能なスライドサマリの構成が可能となる。

【0024】

【発明の実施の形態】

以下に、図面を参照して、本発明を詳細に説明する。図1は、本発明におけるスライドサマリ記述によるスライドサマリ構成方法の第1の実施形態を示している。この実施形態は、単一の原オーディオ／ビデオ（オーディオ情報またはビデオ情報またはオーディオビデオ情報）コンテンツに対して、該オーディオ／ビデ

オスライドの構成要素の記述に、該構成要素の原コンテンツにおける時間区間に関する記述を付加した点に特徴がある。

【0025】

図8と同様にして、オーディオやビデオなどの単一のメディアファイルa（ここでは、オーディオを想定する）が入力されると、オーディオに関するショットまたはシーン検出アルゴリズムにより、第1のショットまたはシーンが定義される（ステップS1）。本実施形態においては、後述の図2(c)から明らかになるように、このショットまたはシーンの原メディアファイルでの位置が、ファイル先頭からの時間コードと長さなどにより「メディア位置」として、すなわち時間区間に関する記述として、スライドサマリファイルに記述される。ただし、スライドサマリ記述ファイルにおいて、各スライド要素の先頭にスライド要素ヘッダが記述される。

【0026】

このショットまたはシーンに対して、キークリップ検出アルゴリズムを適用することにより、第1のショットまたはシーンにおけるキークリップ（主要なクリップ）が決定する（ステップS2）。決定されたキークリップの原メディアファイルでの位置が、ファイル先頭からの時間コードなどにより「メディア時間」としてスライドサマリファイルに記述される。

【0027】

また、オプションにより、上記で決定されたキークリップを別ファイルとして保存する場合には（ステップS3）、保存したキークリップファイル名を「スライド要素ファイル名」としてスライドサマリ記述ファイルに記述する。別ファイルに保存する例としては、スライドの構成要素となるファイルのサイズを小さくするために、圧縮率を高めたり、サンプリング周波数を減少させたりすることが想定される。また、オーディオビデオ情報の場合に、オーディオ部分のみを別ファイルとして保存しておくことも考えられる。

【0028】

上記のことが、第1のショットまたはシーンに対するスライド構成要素を記述するための手順であり、これらの手順を、メディアファイルの最後のショットま

たはシーンまで繰り返す。なお、ショット／シーン分割や、キークリップ決定に関しては、自動ではなく手動で行うこともできる。

【0029】

図2は、図1で示した本発明のスライドサマリ記述によるスライドサマリの例を示している。オリジナルのコンテンツに対して、先頭から第1楽章、第2楽章、第3楽章、…が定義され、それぞれオリジナルでの区間が時間コードとして、図2(a)(b)のように定義されているものとする。また、スライドの構成要素は、それぞれのシーンに対して時間コードとして同図(a)(b)のように与えられているものとする。ただし、スライド構成要素は外部ファイルとして指定することもできる。

【0030】

これらのスライド構成要素に対して、その構成要素が属するオリジナルコンテンツ（ここでは、各楽章）の時間コードが、「メディア位置」として記述される。図2(c)にスライドサマリの実際の記述例を示す。このコンテンツのスライドサマリは、通常の状態では01:30～01:45、07:00～07:20、12:20～13:00、…と時系列に連続して再生されるが、あるスライド構成要素（例えば07:00～07:20）の再生中に、オリジナルコンテンツ（第2楽章）への遷移を指定すると、メディア位置として記述されたオリジナル区間に示された時間コードへ遷移し（矢印p参照）、該当する区間を再生することができる。また、オリジナルコンテンツの再生中に再度スライドサマリへの遷移を指定するか、該当するオリジナルコンテンツの再生が終了すると、遷移元のスライドサマリの次に記述されたスライドから、再度スライドサマリの再生が開始される。

【0031】

図3は、上記の閲覧動作の詳細を示すフローチャートである。ステップS11、S12、S15のサイクルでコンテンツのスライド構成要素の再生が行われている時に、ステップS12でオリジナル再生が指定されたとすると、ステップS13に進んで再生中のスライド構成要素と対応する区間のオリジナルコンテンツへ遷移し、該オリジナルコンテンツの区間の最初から再生が行われる。該オリジナルコンテンツの再生中にスライド構成要素の再生が指定されると（ステップS

14が肯定)、ステップS17に進んで次のスライド構成要素の再生に遷移する。このように、本実施形態によれば、スライド構成要素の再生からオリジナルコンテンツの該当する区間への遷移をすることができる。ステップS18で、再生停止の指示があると、閲覧動作は終了する。

【0032】

図4は、本発明におけるスライドサマリ記述によるスライドサマリ構成方法の第2の実施形態を示している。この実施形態は、複数の原オーディオ／ビデオコンテンツに対して、該オーディオ／ビデオスライドの構成要素の記述に、該構成要素が属する原コンテンツの識別子に関する記述を付加した点に特徴がある。

【0033】

すなわち、前記第1実施形態(図1、図2)と異なる点は、記述されるオーディオやビデオなどのメディアファイルが複数存在することである。これらのメディアファイル群b(ここでは、オーディオを想定する)が入力されると、そのメディアファイル名が「メディア位置」として、すなわち原コンテンツの識別子に関する記述として、スライドサマリファイルに記述される。ただし、スライドサマリ記述ファイルにおいて、各スライド要素の先頭にスライド要素ヘッダが記述される。

【0034】

次に、図1に示した場合と同様にして、各ファイルに対してキークリップ検出アルゴリズムを適用することにより、第1のファイルにおけるキークリップが決定する。キークリップの決定は、手動で行うこともできる。決定されたキークリップの元メディアファイルでの位置が、ファイル先頭からの時間コードなどにより「メディア時間」としてスライドサマリファイルに記述される。

【0035】

また、オプションにより、上記で決定されたキークリップを別ファイルとして保存する場合には、保存したキークリップファイル名を「スライド要素ファイル名」としてスライドサマリ記述ファイルに記述する。これらが第1のメディアファイルに対するスライド構成要素を記述するための手順であり、これらの手順を、入力された全てのメディアファイルに対して繰り返す。

【 0 0 3 6 】

図 5 は、図 4 で示した本発明によるスライドサマリ記述における例を示している。歌謡曲 1、歌謡曲 2、歌謡曲 3、…などの複数のメディアファイル（すなわち、メディアファイル群 b）が存在し、それらのファイル名が図 5 (a) (b) のように与えられているものとする。また、スライドの構成要素は、それぞれのファイルに対して時間コードとして同じく、同図 (a) (b) のように与えられており、それぞれが外部ファイルとして存在する。これらのスライド構成要素に対して、その構成要素が属するオリジナルメディアファイル（ここでは、各歌謡曲）の位置（ファイルのパス+ファイル名など）が、「メディア位置」として記述される。

【 0 0 3 7 】

図 5 (c) にスライドサマリの実際の記述例を示す。このコンテンツのスライドサマリは、通常の状態では Song1_sum、Song2_sum、Song3_sum、…と時系列に連続して再生されるが、あるスライド構成要素（例えば Song2_sum）の再生中に、オリジナルコンテンツ（Song2）への遷移を指定すると、メディア位置として記述されたファイル名が示すファイルへ遷移し、該当するファイルを先頭から再生することができる。また、オリジナルファイルの再生中に再度スライドサマリへの遷移を指定するか、該当するオリジナルファイルの再生が終了すると、遷移元のスライドサマリの次に記述されたスライドから、再度スライドサマリの再生が開始される。この動作は、図 3 で示した動作と同様である。

【 0 0 3 8 】

図 6 は、図 5 の実施形態の変形例を示すものである。この変形例では、同図 (b) に示されているように、スライドの各構成要素が 1 つの合成ファイルとして与えられており、そのファイル名は SongAll_sum で与えられている（図 6 (b) 参照）。図 5 の例と同じく、構成要素が属するオリジナルメディアファイル（ここでは、各歌謡曲）の位置（ファイルのパス+ファイル名など）が、「メディア位置」として記述される。図 6 (c) にスライドサマリの実際の記述例を示す。このコンテンツのスライドサマリは、通常の状態では SongAll_sum の 00:00 ～00:10、00:10 ～00:25、00:25 ～00:40、…と時系列に連続して再生されるが、図 6 (b) に示すようにあるスライド構成要素（例えば、SongAll_sum の 00:10 ～00:25

）の再生中にオリジナルコンテンツ（Song2）の再生開始pを指定すると、メディア位置として記述されたファイル名が示すファイルへ遷移し、該当するファイルを先頭から再生することができる。

【0039】

次に、図7は、本発明に係る閲覧装置の概略図を示す。図7のように、スライドサマリの再生中（スライドサマリ再生ボタン11がオン）に、例えばオリジナルコンテンツ属性表示指定ボタン12を押してオリジナルファイルの属性（タイトル、ファイル名など）の表示を指定すると、スライドサマリファイルに記述されている、オリジナルファイルに関する記述情報（例えば、タイトル、ファイル名等）を、文字情報表示部14に表示することができる。一方、スライドサマリの再生中に、オリジナルコンテンツ再生開始指定ボタン13を押してオリジナルコンテンツ再生開始の指定をすると、画像情報表示部15に該スライドサマリに係るオリジナルコンテンツの区間またはファイルを再生することができる。

【0040】

このように、本発明ではスライド構成要素がオリジナルコンテンツのどの部分に属するかという情報に加えて、各スライド構成要素が属するショット／シーンなどの時間区間が、また、各スライド構成要素がそれぞれ異なるファイルに属する場合にはその識別子（ファイル名など）が記述されるため、スライドサマリ再生中に、再生されているスライドが属するショットやシーンなどを単独で再生することができる。これにより、より高機能なオーディオ／ビデオスライドサマリを提供することが可能となる。

【0041】

【発明の効果】

以上の説明から明らかなように、本発明によれば、オーディオ／ビデオ情報のスライドサマリの構成要素の記述に、該構成要素の原オーディオ／ビデオコンテンツとの関係に関する記述を含めることが可能になる。また、複数のファイルに関するスライドサマリを記述することが可能になる。また、スライド構成要素と関連付けられた該スライド構成要素のオリジナルのコンテンツ（時間区間またはファイル）への遷移が可能となり、オーディオビデオ情報の概要を把握する際に

、高速且つ高機能なオーディオビデオ情報の閲覧ができるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明の第 1 実施形態のスライドサマリ構成例を示すブロック図（単一ファイル）である。

【図 2】 図 1 のスライドサマリ構成によるスライドサマリ及びその記述例を示す図である。

【図 3】 本実施形態の閲覧動作を示すフローチャートである。

【図 4】 本発明の第 2 実施形態のスライドサマリ構成例を示すブロック図（複数ファイル）である。

【図 5】 図 4 のスライドサマリ構成によるスライドサマリ及びその記述例を示す図である。

【図 6】 図 4 のスライドサマリ構成による他のスライドサマリ及びその記述例を示す図である。

【図 7】 本発明により実現されるスライドサマリ再生中における各種動作を示す図である。

【図 8】 従来方式のスライドサマリ構成例を示すブロック図である。

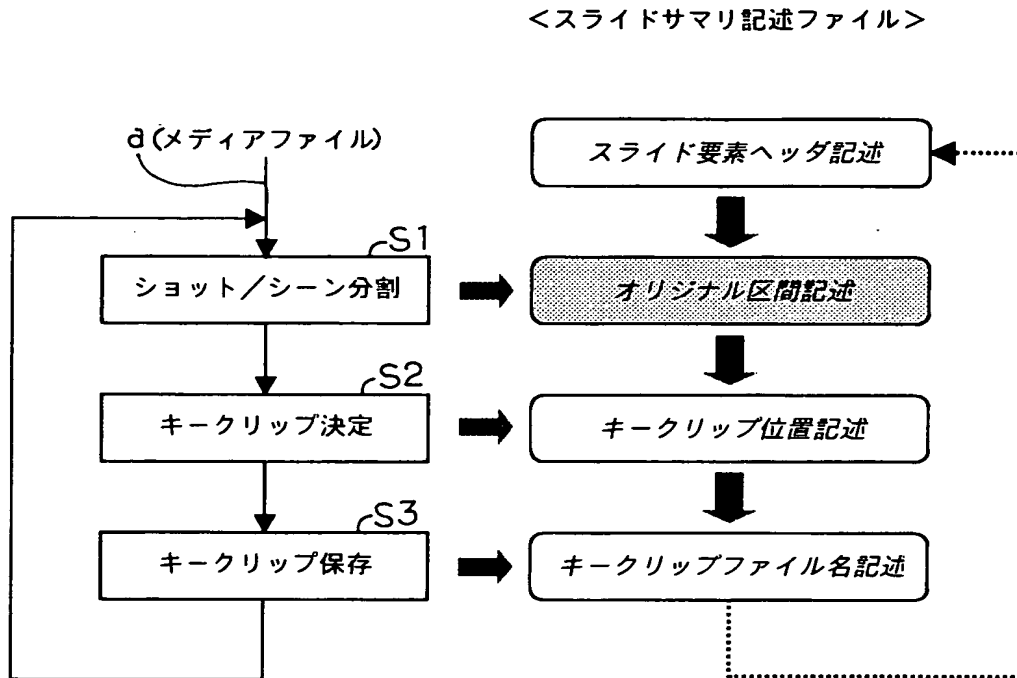
【図 9】 図 8 のスライドサマリ構成によるスライドサマリ及びその記述例を示す図である。

【符号の説明】

1 1 …スライドサマリ再生ボタン、1 2 …オリジナルコンテンツ属性表示指定ボタン、1 3 …オリジナルコンテンツ再生開始指定ボタン、1 4 …文字情報表示部、1 5 …画像情報表示部。

【書類名】 図面

【図 1】

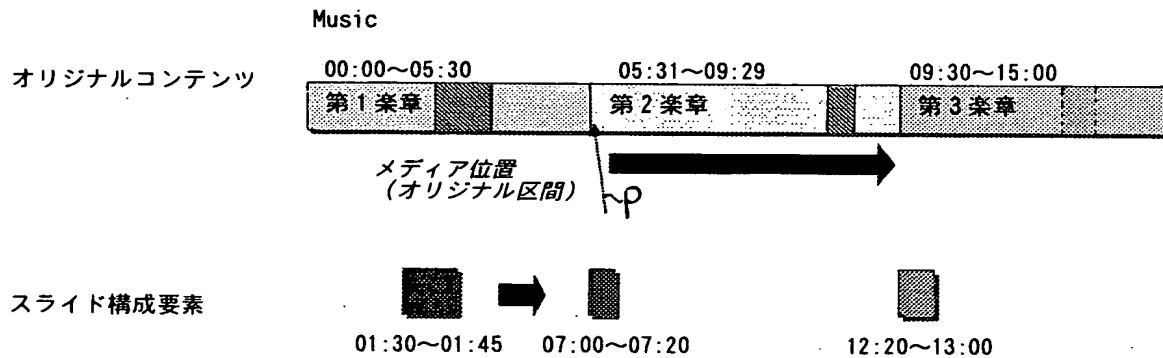


【図 2】

(a)

コンテンツ	オリジナル区間 (時間)		スライド構成要素 (時間)
第 1 楽章	00:00:00~00:05:30	⇔	00:01:30~00:01:45
第 2 楽章	00:05:31~00:09:29	⇔	00:07:00~00:07:20
第 3 楽章	00:09:30~00:15:00	⇔	00:12:20~00:13:00
...			

(b)



(c)

本発明のスライドサマリ記述 1

スライドサマリ

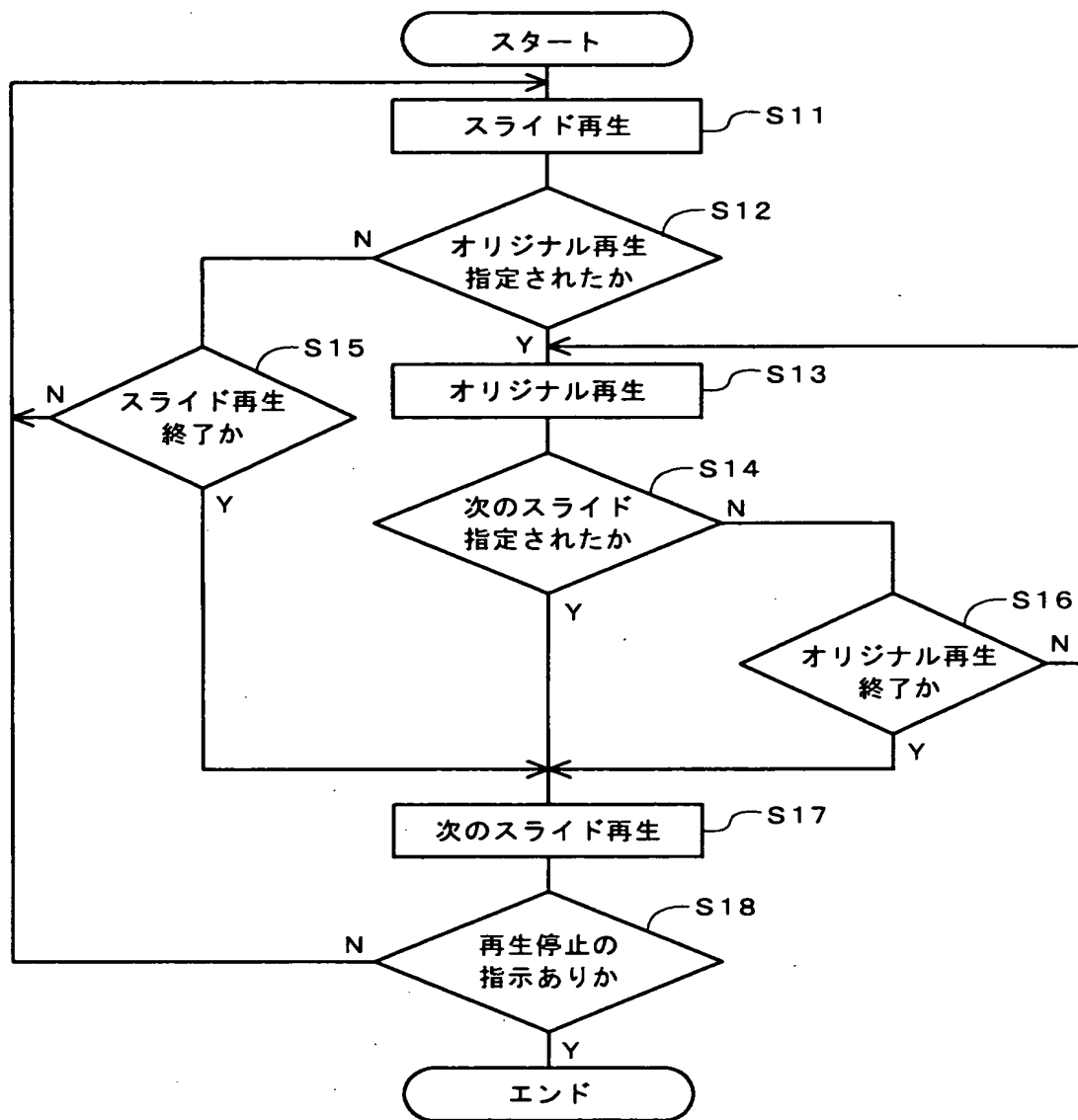
<--! スライド構成要素 1 -->
 スライド要素ヘッダ
 タイトル: 第 1 楽章
 メディア位置: 00:00:00~00:05:30
 メディア時間: 00:01:30~00:01:45

<--! スライド構成要素 2 -->
 スライド要素ヘッダ
 タイトル: 第 2 楽章
 メディア位置: 00:05:31~00:09:29
 メディア時間: 00:07:00~00:07:20

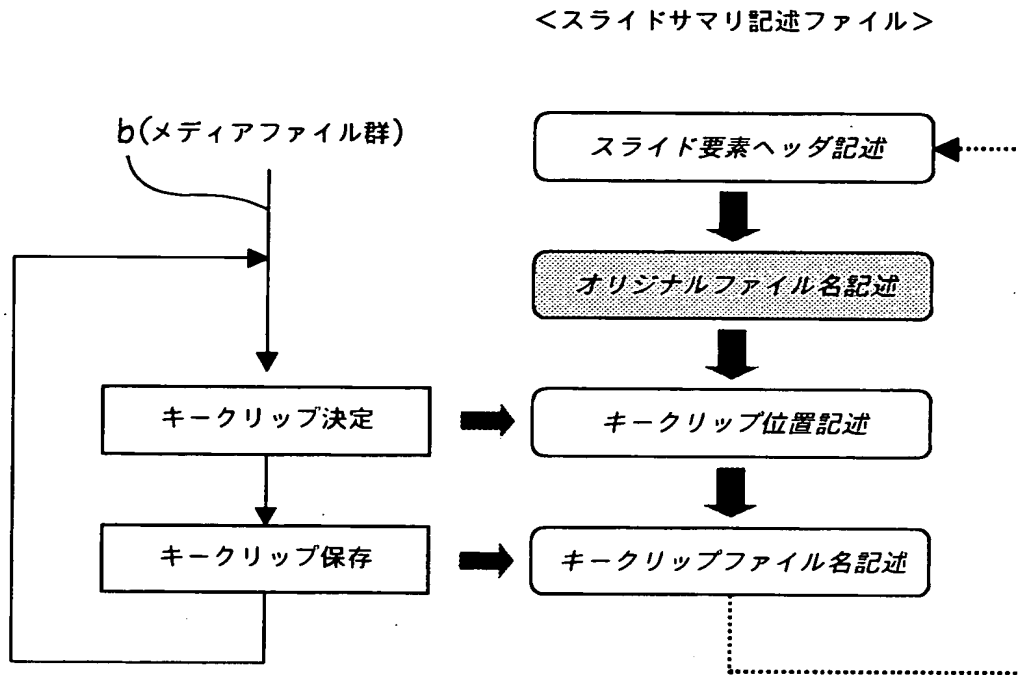
<--! スライド構成要素 3 -->
 スライド要素ヘッダ
 タイトル: 第 3 楽章
 メディア位置: 00:09:30~00:15:00
 メディア時間: 00:12:20~00:13:00

...

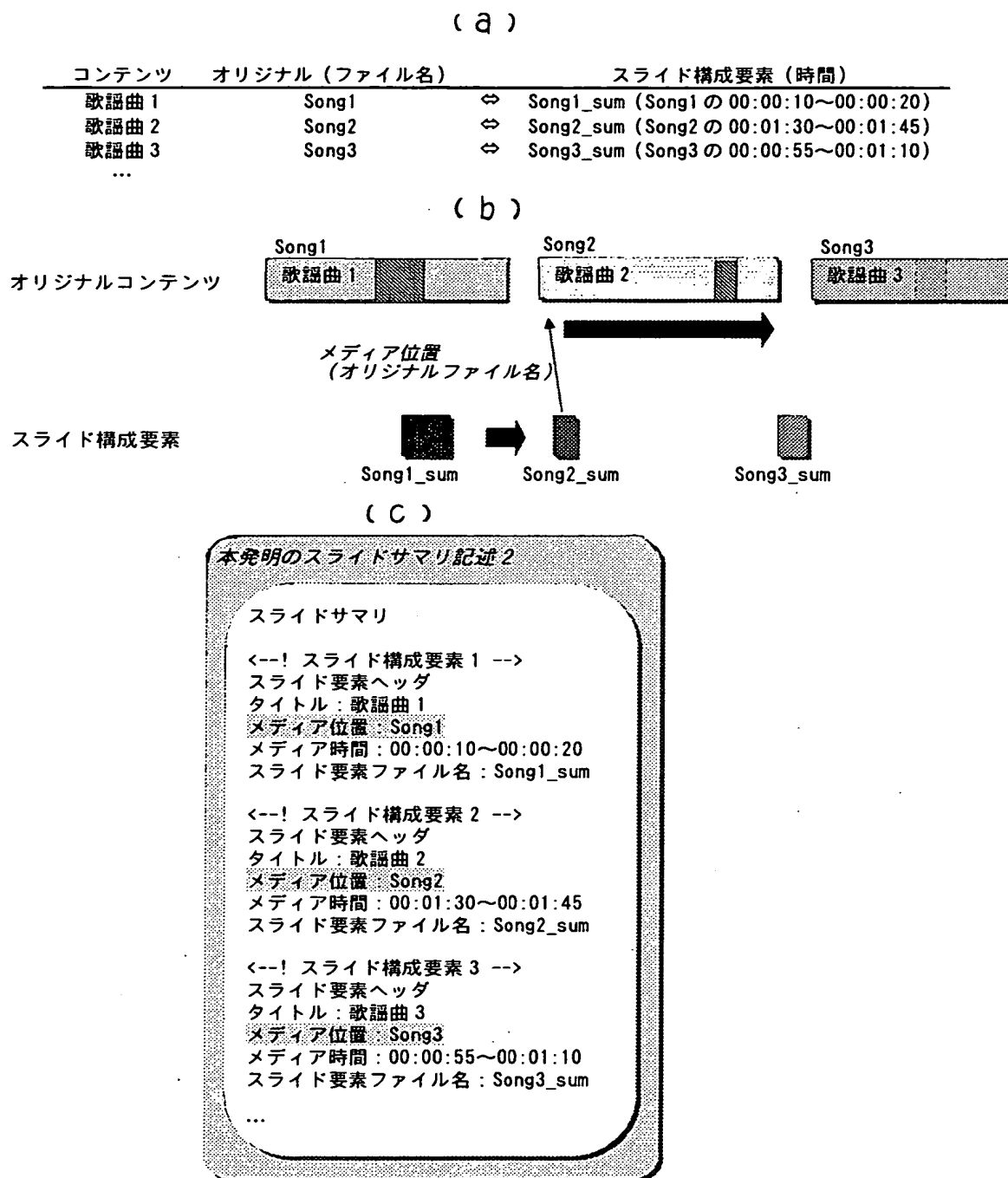
【図 3】



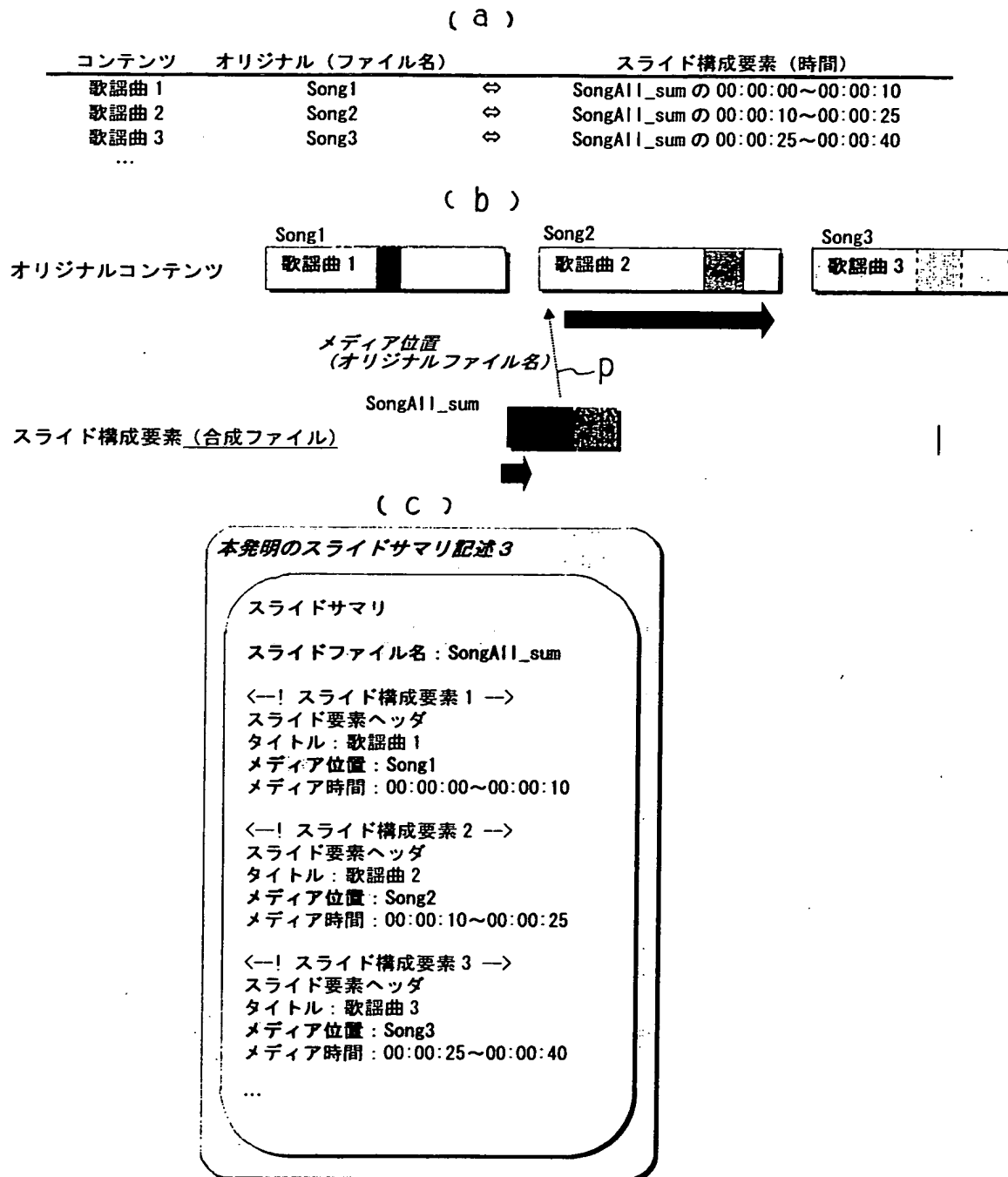
【図4】



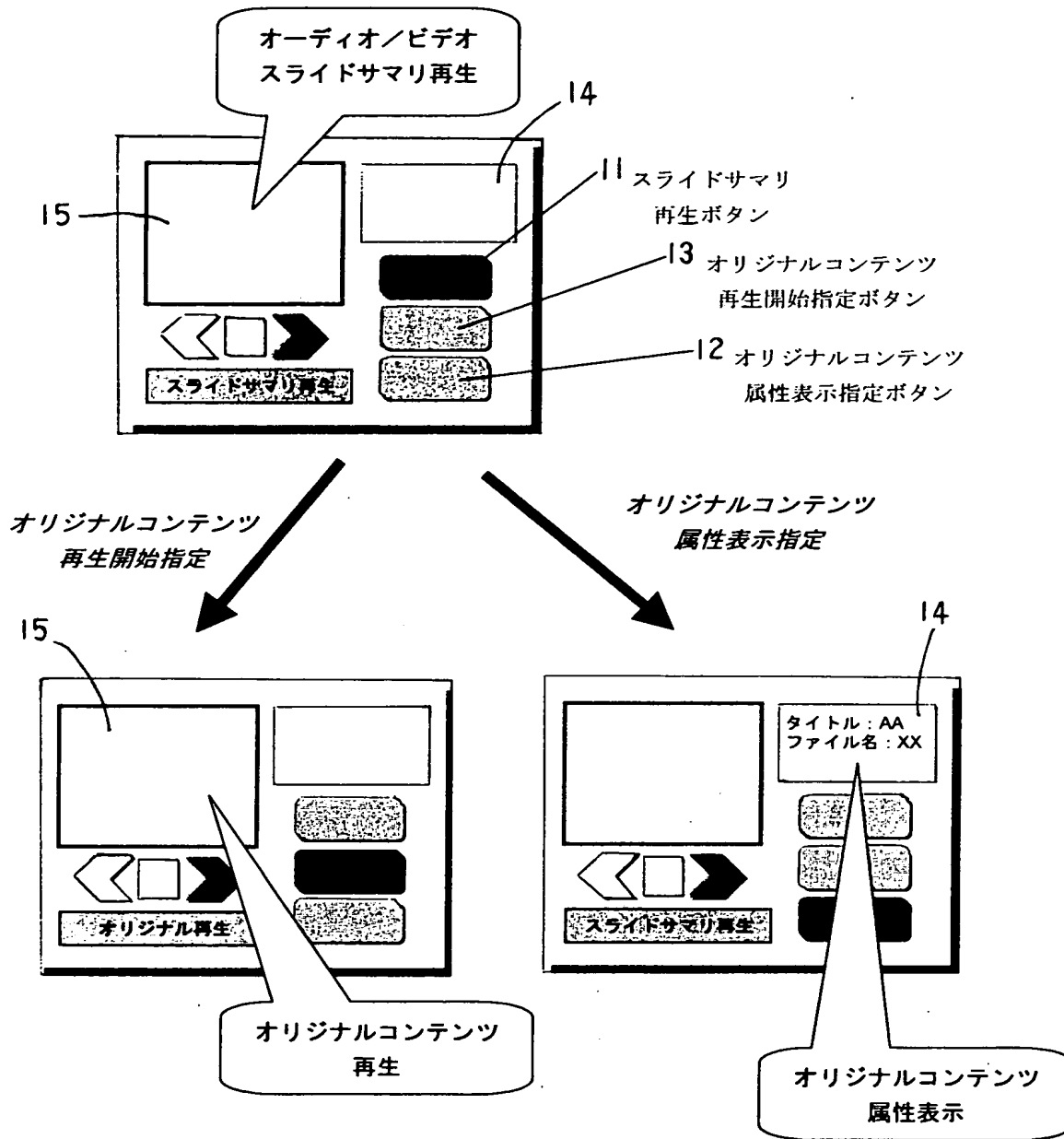
【図 5】



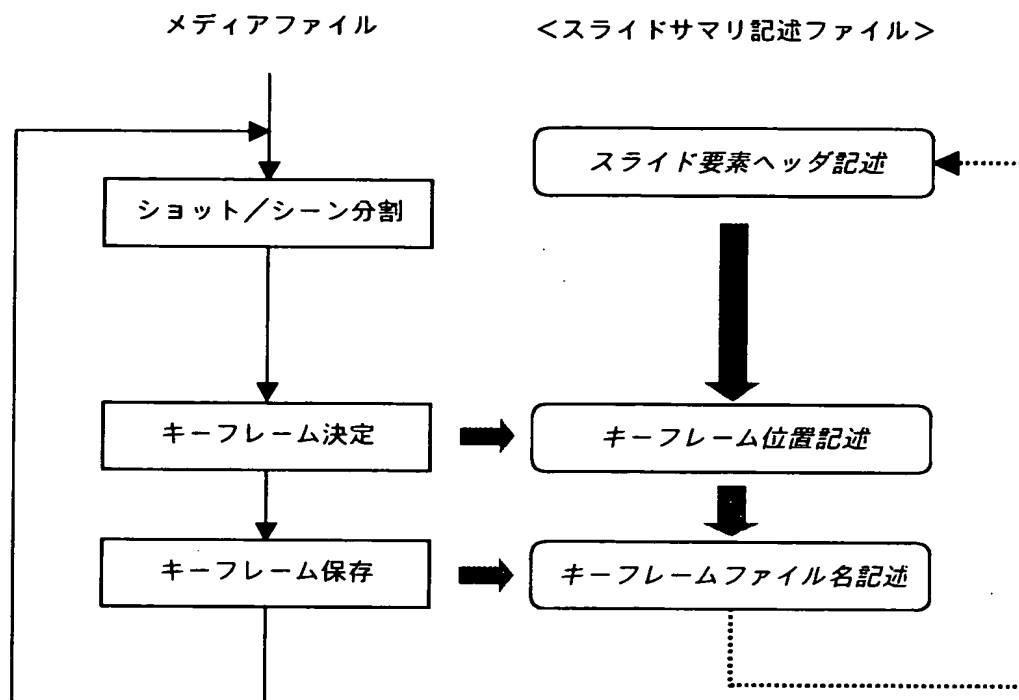
【図 6】



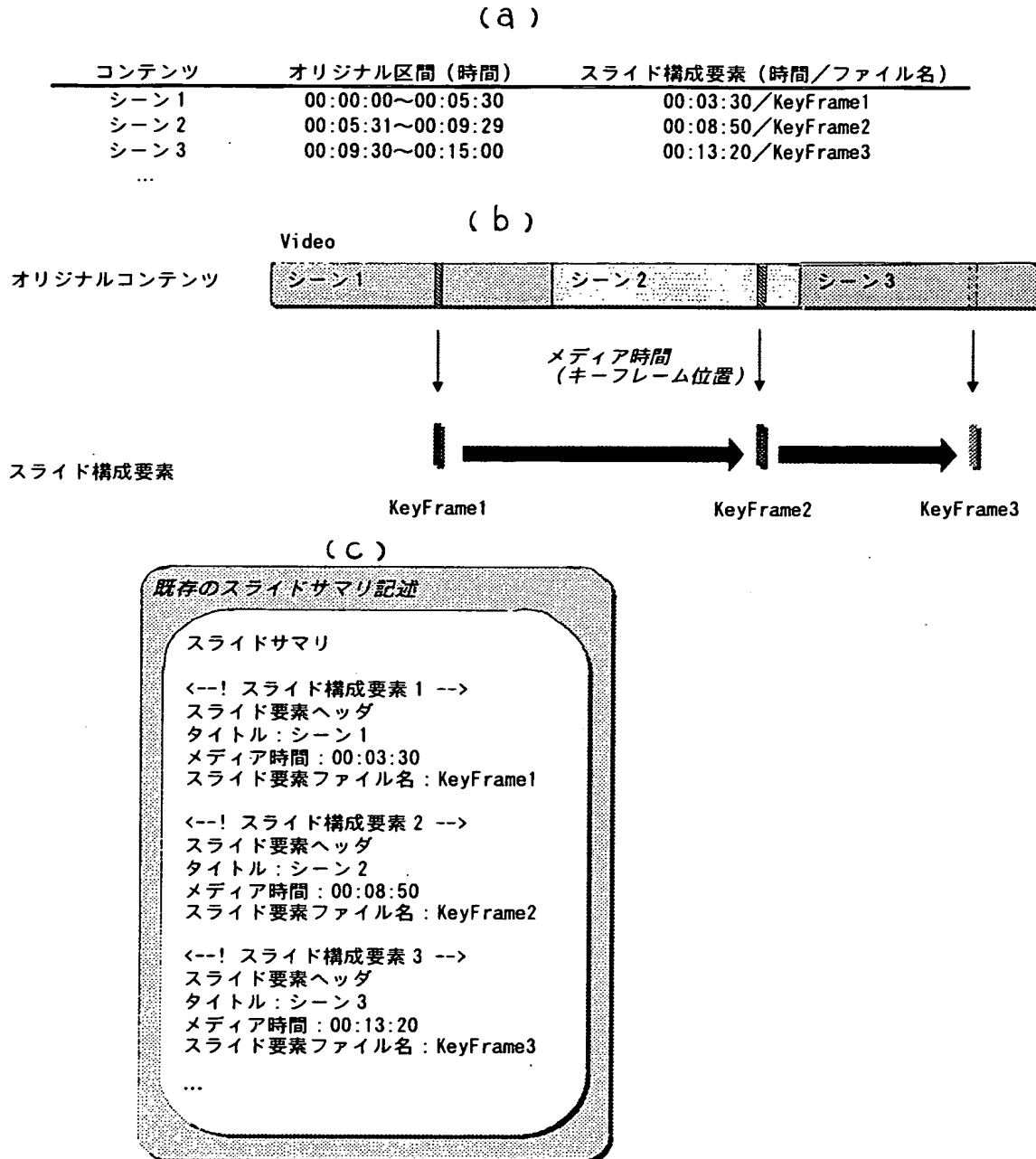
【図 7】



【図 8】



【図 9】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 高速且つ高機能な閲覧を提供することが可能なオーディオ／ビデオ情報の概要情報の構成を提供することにある。

【解決手段】 単一または複数のオーディオビデオコンテンツの一部（小区間またはフレーム）をスライド構成要素とするスライドサマリの記述において、スライド構成要素からオリジナルのコンテンツへのリンクを指定するための原コンテンツの時間位置または場所（ファイル名）に関する記述を付加した。例えば、オリジナルコンテンツ区間の原メディアファイルでの位置が、ファイル先頭からの時間コードと長さなどにより「メディア位置」としてスライドサマリファイルに記述される。また、該スライド構成要素の原メディアファイルでの位置が、ファイル先頭からの時間コードなどにより「メディア時間」としてスライドサマリファイルに記述される。

【選択図】 図2

【書類名】 出願人名義変更届（一般承継）

【提出日】 平成12年10月18日

【あて先】 特許庁長官 及川耕造 殿

【事件の表示】

【出願番号】 特願2000-157154

【承継人】

【識別番号】 000208891

【住所又は居所】 東京都千代田区一番町 8 番地

【電話番号】 03-3347-7109

【連絡先】 ファックス番号 0 3 - 3 3 4 7 - 7 2 5 6

【氏名又は名称】 株式会社ディーディーアイ

【代表者】 奥山 雄材

【提出物件の目録】

【物件名】 権利の承継を証明する書面 1

履歴事項全部証明書

(A)10001980133



東京都千代田区一番町8番地
株式会社ディーディーアイ
会社法人等番号 0199-01-021485

(A)10001980268



商 号	第二電電株式会社	
	株式会社ディーディーアイ	平成12年10月 1日変更 平成12年10月 2日登記
本 店	東京都千代田区一番町8番地	
公告をする方法	東京都において発行する日本経済新聞に掲載する	
会社成立の年月日	昭和59年6月1日	
目 的	(1) 電気通信事業法に定める電気通信事業 (2) 電気通信に関する機器の開発、製造及び販売 (3) 電気通信に関するソフトウェアの開発、製作及び販売 (4) 前各号に付帯又は関連する一切の業務	
	(1) 電気通信事業法に定める電気通信事業 (2) 電気通信に関する機器の開発、製造及び販売 (3) 電気通信に関するソフトウェアの開発、製作及び販売 (4) 前各号に付帯又は関連する一切の業務 平成12年 5月 8日許可 平成12年 5月 8日更正	
	(1) 電気通信事業法に定める電気通信事業 (2) 電気通信に関する機器の研究、開発、製造、運用、保守、販売及び賃貸 (3) 電気通信に関するソフトウェアの研究、開発、製作、運用、保守、販売及び賃貸 (4) 電気通信に関する市場調査及びシステムの開発 (5) 電気通信設備及びこれに附帯する設備の研究、開発、製作、設置（電気通信設備の高速道路への設置を含む）、運用、メンテナンス、販売、賃貸及びこれらの請負 (6) 海底ケーブル及びこれに附帯する設備の研究、開発、設計、敷設、建築、設置、運用、保守、販売、賃貸及びこれらの請負 (7) 電気通信工事、土木工事、建築工事の設計、施工、監理及びこれらの請負 (8) 海洋の測量、調査及びこれらの請負 (9) 情報処理サービス業及び情報提供サービス業 (10) 前各号に関連するコンサルティング及びシステム・エンジニアリング (11) 通信回線を利用した事務連絡代行、受注等取次・代行業務、通訳、会議サービス及び文書翻訳事業 (12) 国内外の電気通信事業等に関する情報収集、調査研究 (13) 不動産の利用及び駐車場業 (14) 金融業 (15) 各種料金の請求収納代理業	

整理番号 ク521537

* 下線のあるものは抹消事項であることを示す。

1/13

東京都千代田区一番町8番地
株式会社ディーディーアイ
会社法人等番号 0199-01-021485

	<p>(16) 損害保険代理店業及び生命保険の募集に関する業務 (17) 旅行業、国際・国内航空貨物取扱代理店業 (18) 労働者派遣業 (19) 倉庫業及び通関業 (20) 出版業 (21) 飲食店、医薬品・日用雑貨品販売店、宿泊施設、スポーツ施設、会議室、宴会会場等の経営 (22) 事務用機器、事務用消耗品、図書、雑誌、自動車、家庭用電気製品、食品等の輸出入、販売、リース、レンタル及び割賦販売 (23) 電気通信、語学、コンピューター技術、資格検定試験対策教育等に関する教育、訓練の企画、立案及び実施 (24) 工業所有権、技術ノウハウ、ソフトウェア、著作権等の無体財産権の権利化企画、取得、管理、仲介及び販売、並びにこれら無体財産権の関連技術情報の調査、分析及び販売 (25) 広告業 (26) 前各号に附帯又は関連する一切の事業その他前各号の目的を達成するために必要な事業を営むことができる</p> <p>平成12年10月 1日変更 平成12年10月 2日登記</p>
	<p>(1) 電気通信事業法に定める電気通信事業 (2) 電気通信に関する機器の研究、開発、製造、運用、保守、販売及び賃貸 (3) 電気通信に関するソフトウェアの研究、開発、製作、運用、保守、販売及び賃貸 (4) 電気通信に関する市場調査及びシステムの開発 (5) 電気通信設備及びこれに附帯する設備の研究、開発、製作、設置（電気通信設備の高速道路への設置を含む）、運用、メンテナンス、販売、賃貸及びこれらの請負 (6) 海底ケーブル及びこれに附帯する設備の研究、開発、設計、敷設、建築、設置、運用、保守、販売、賃貸及びこれらの請負 (7) 電気通信工事、土木工事、建築工事の設計、施工、監理及びこれらの請負 (8) 海洋の測量、調査及びこれらの請負 (9) 情報処理サービス業及び情報提供サービス業 (10) 前各号に関連するコンサルティング及びシステム・エンジニアリング (11) 通信回線を利用した事務連絡代行、受注等取次・代行業務、通訳、会議サービス及び文書翻訳事業 (12) 国内外の電気通信事業等に関する情報収集、調査研究 (13) 不動産の利用及び駐車場業 (14) 金融業 (15) 各種料金の請求収納代理業 (16) 損害保険代理店業及び生命保険の募集に関する業務 (17) 旅行業、国際・国内航空貨物取扱代理店業 (18) 労働者派遣業 (19) 倉庫業及び通関業 (20) 出版業 (21) 飲食店、医薬品・日用雑貨品販売店、宿泊施設、スポーツ施設、会議室、宴会会場等の経営 (22) 事務用機器、事務用消耗品、図書、雑誌、自動車、家庭用電気製品、食品等の輸出入、販売、リース、レンタル及び割賦販売 (23) 電気通信、語学、コンピューター技術、資格検定試験対策教育等に</p>

整理番号 ク521537

* 下線のあるものは抹消事項であることを示す。

2/13

東京都千代田区一番町8番地
株式会社ディーディーアイ
会社法人等番号 0199-01-021485

	<p>関する教育、訓練の企画、立案及び実施 (24) 工業所有権、技術ノウハウ、ソフトウェア、著作権等の無体財産権の権利化企画、取得、管理、仲介及び販売、並びにこれら無体財産権の関連技術情報の調査、分析及び販売 (25) 広告業 (26) 前各号に附帯又は関連する一切の事業その他前各号の目的を達成するために必要な事業を営むことができる 平成12年10月 4日許可 平成12年10月 4日更正</p>	
額面株式1株の金額	金5000円	
発行する株式の総数	700万株	
発行済株式の総数並びに種類及び数	発行済株式の総数 227万4442株	
	発行済株式の総数 239万7890株	平成12年 9月30日変更 平成12年10月 2日登記
	発行済株式の総数 374万3150.60株	
		平成12年10月 2日登記
資本の額	金726億3492万6000円	
	金1326億3682万6400円	平成12年 9月30日変更 平成12年10月 2日登記
	金1393億6312万9400円	
		平成12年10月 2日登記
名義書換代理人の氏名及び住所並びに営業所	<p>東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 東洋信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 東洋信託銀行株式会社証券代行部</p>	
役員に関する事項	取締役 稲盛和夫	平成 9年 6月27日重任
	取締役 稲盛和夫	平成11年 6月29日重任
		平成11年 7月 7日登記

東京都千代田区一番町8番地
株式会社ディーディーアイ
会社法人等番号 0199-01-021485

	取締役	奥 山 雄 材	平成 9 年 6 月 2 7 日 重 任
	取締役	奥 山 雄 材	平成 1 1 年 6 月 2 9 日 重 任
			平成 1 1 年 7 月 7 日 登 記
	取締役	日 沖 昭	平成 9 年 6 月 2 7 日 重 任
	取締役	日 沖 昭	平成 1 1 年 6 月 2 9 日 重 任
			平成 1 1 年 7 月 7 日 登 記
	取締役	小 野 寺 正	平成 9 年 6 月 2 7 日 重 任
	取締役	小 野 寺 正	平成 1 1 年 6 月 2 9 日 重 任
			平成 1 1 年 7 月 7 日 登 記
	取締役	三 野 正 博	平成 9 年 6 月 2 7 日 重 任
	取締役	三 野 正 博	平成 1 1 年 6 月 2 9 日 重 任
			平成 1 1 年 7 月 7 日 登 記
	取締役	檜 原 常 榮	平成 9 年 6 月 2 7 日 重 任
	取締役	檜 原 常 榮	平成 1 1 年 6 月 2 9 日 重 任
			平成 1 1 年 7 月 7 日 登 記
	取締役	下 坂 博 信	平成 9 年 6 月 2 7 日 重 任
			平成 1 1 年 6 月 2 9 日 退 任
			平成 1 1 年 7 月 7 日 登 記

東京都千代田区一番町8番地
株式会社ディーディーアイ
会社法人等番号 0199-01-021485

	取締役	種野 晴 夫	平成 9年 6月27日重任
	取締役	種野 晴 夫	平成11年 6月29日重任
			平成11年 7月 7日登記
	取締役	小 山 優 郎	平成 9年 6月27日就任
			平成11年 6月29日退任
			平成11年 7月 7日登記
	取締役	山 本 正 之	平成 9年 6月27日就任
			平成11年 6月29日退任
			平成11年 7月 7日登記
	取締役	片 岡 増 美	平成 9年 6月27日重任
			平成11年 6月29日退任
			平成11年 7月 7日登記
	取締役	木 下 龍 一	平成 9年 6月27日重任
	取締役	木 下 龍 一	平成11年 6月29日重任
			平成11年 7月 7日登記
	取締役	中 野 伸 彦	平成 9年 6月27日重任
	取締役	中 野 伸 彦	平成11年 6月29日重任
			平成11年 7月 7日登記

東京都千代田区一番町8番地
株式会社ディーディーアイ
会社法人等番号 0199-01-021485

	<u>取締役</u> 福 岡 俊 一	平成 9 年 6 月 2 7 日重任
		平成11年 6月29日退任
		平成11年 7 月 7 日登記
	<u>取締役</u> 橋 薫	平成 9 年 6 月 2 7 日重任
		平成11年 6月29日重任
	取締役 橋 薫	平成11年 7 月 7 日登記
	<u>取締役</u> 藤 澤 迪 夫	平成 9 年 6 月 2 7 日重任
		平成11年 6月29日重任
	取締役 藤 澤 迪 夫	平成11年 7 月 7 日登記
		平成12年 6月28日辞任
		平成12年 7 月 6 日登記
	<u>取締役</u> 酒 井 博	平成 9 年 6 月 2 7 日重任
		平成11年 6月29日重任
	取締役 酒 井 博	平成11年 7 月 7 日登記
	<u>取締役</u> 森 田 敏 行	平成 9 年 6 月 2 7 日重任
		平成11年 6月29日重任
	取締役 森 田 敏 行	平成11年 7 月 7 日登記
	<u>取締役</u> 西 角 寛 文	平成 9 年 6 月 2 7 日重任
		平成11年 6月29日重任
	取締役 西 角 寛 文	平成11年 7 月 7 日登記

整理番号 ク521537

* 下線のあるものは抹消事項であることを示す。

6/13

東京都千代田区一番町8番地
株式会社ディーディーアイ
会社法人等番号 0199-01-021485

	取締役	那 須 角 忠	平成 9 年 6 月 2 7 日重任
	取締役	那 須 角 忠	平成11年 6 月 2 9 日重任
			平成11年 7 月 7 日登記
			平成12年 6 月 2 8 日辞任
			平成12年 7 月 6 日登記
	取締役	浜 田 聖 治	平成 9 年 6 月 2 7 日就任
	取締役	浜 田 聖 治	平成11年 6 月 2 9 日重任
			平成11年 7 月 7 日登記
	取締役	左 藤 清	平成 9 年 6 月 2 7 日就任
	取締役	左 藤 清	平成11年 6 月 2 9 日重任
			平成11年 7 月 7 日登記
	取締役	北 迫 忠 志	平成 9 年 6 月 2 7 日就任
	取締役	北 迫 忠 志	平成11年 6 月 2 9 日重任
			平成11年 7 月 7 日登記
	取締役	飯 田 亮	平成 9 年 6 月 2 7 日重任
	取締役	飯 田 亮	平成11年 6 月 2 9 日重任
			平成11年 7 月 7 日登記
	取締役	牛 尾 治 朗	平成 9 年 6 月 2 7 日重任
	取締役	牛 尾 治 朗	平成11年 6 月 2 9 日重任
			平成11年 7 月 7 日登記

整理番号 ク521537

* 下線のあるものは抹消事項であることを示す。

7/13

東京都千代田区一番町8番地
株式会社ディーディーアイ
会社法人等番号 0199-01-021485

	取締役	伊藤 謙 介	平成 9年 6月27日重任
	取締役	伊藤 謙 介	平成11年 6月29日重任
			平成11年 7月 7日登記
			平成12年 6月28日辞任
			平成12年 7月 6日登記
	取締役	大賀 典 雄	平成 9年 6月27日重任
	取締役	大賀 典 雄	平成11年 6月29日重任
			平成11年 7月 7日登記
	取締役	西 口 泰 夫	平成 9年 6月27日就任
	取締役	西 口 泰 夫	平成11年 6月29日重任
			平成11年 7月 7日登記
	取締役	山 本 正 博	平成 9年 6月27日就任
	取締役	山 本 正 博	平成11年 6月29日重任
			平成11年 7月 7日登記
	取締役	梅 村 正 廣	平成 9年 6月27日就任
	取締役	梅 村 正 廣	平成11年 6月29日重任
			平成11年 7月 7日登記
	取締役	野 村 一	平成10年 6月26日就任
	取締役	野 村 一	平成11年 6月29日重任
			平成11年 7月 7日登記

整理番号 ク521537

* 下線のあるものは抹消事項であることを示す。

8/13

東京都千代田区一番町8番地
株式会社ディーディーアイ
会社法人等番号 0199-01-021485

	取締役 岡田 健	平成11年 6月29日就任
		平成11年 7月 7日登記
	取締役 館野 修	平成11年 6月29日就任
		平成11年 7月 7日登記
	取締役 津田 裕士	平成11年 6月29日就任
		平成11年 7月 7日登記
	取締役 白井 清英	平成12年 6月28日就任
		平成12年 7月 6日登記
	取締役 北川 洋	平成12年 6月28日就任
		平成12年 7月 6日登記
	取締役 石川 雄三	平成12年 6月28日就任
		平成12年 7月 6日登記
	取締役 久木 壽男	平成12年 6月28日就任
		平成12年 7月 6日登記
	取締役 豊田 章一郎	平成12年10月 1日就任
		平成12年10月 2日登記
	取締役 西本 正	平成12年10月 1日就任
		平成12年10月 2日登記
	取締役 土居 正雄	平成12年10月 1日就任
		平成12年10月 2日登記
	取締役 酒井 進児	平成12年10月 1日就任
		平成12年10月 2日登記
	取締役 岩崎 欣二	平成12年10月 1日就任
		平成12年10月 2日登記
	取締役 大橋 博	平成12年10月 1日就任
		平成12年10月 2日登記

整理番号 ク521537

* 下線のあるものは抹消事項であることを示す。

9/13

東京都千代田区一番町8番地
株式会社ディーディーアイ
会社法人等番号 0199-01-021485

取締役	平 田 康 夫	平成12年10月 1日就任
		平成12年10月 2日登記
取締役	起 橋 俊 男	平成12年10月 1日就任
		平成12年10月 2日登記
取締役	柏 村 肇	平成12年10月 1日就任
		平成12年10月 2日登記
取締役	中 垣 良 則	平成12年10月 1日就任
		平成12年10月 2日登記
取締役	田 中 成 欣	平成12年10月 1日就任
		平成12年10月 2日登記
取締役	霜 島 稜	平成12年10月 1日就任
		平成12年10月 2日登記
取締役	大 島 誠 一 郎	平成12年10月 1日就任
		平成12年10月 2日登記
取締役	松 平 恒 和	平成12年10月 1日就任
		平成12年10月 2日登記
取締役	塚 田 一 幸	平成12年10月 1日就任
		平成12年10月 2日登記
取締役	西 海 彰	平成12年10月 1日就任
		平成12年10月 2日登記
取締役	弥 津 侶 夫	平成12年10月 1日就任
		平成12年10月 2日登記
取締役	村 上 仁 己	平成12年10月 1日就任
		平成12年10月 2日登記
取締役	伊 藤 明	平成12年10月 1日就任
		平成12年10月 2日登記

整理番号 ク521537

* 下線のあるものは抹消事項であることを示す。

10/13

東京都千代田区一番町8番地
株式会社ディーディーアイ
会社法人等番号 0199-01-021485

取締役 伊 藤 泰 彦	平成12年10月 1日就任
	平成12年10月 2日登記
取締役 金 子 知 好	平成12年10月 1日就任
	平成12年10月 2日登記
取締役 神 鳥 矩 行	平成12年10月 1日就任
	平成12年10月 2日登記
取締役 井 上 幾 由	平成12年10月 1日就任
	平成12年10月 2日登記
<u>東京都府中市八幡町二丁目12番地の45</u> 代表取締役 奥 山 雄 材	平成 9年 6月27日重任
<u>東京都府中市八幡町二丁目12番地の45</u> 代表取締役 奥 山 雄 材	平成11年 6月29日重任
	平成11年 7月 7日登記
<u>横浜市青葉区新石川二丁目17番地22</u> 代表取締役 日 沖 昭	平成 9年 6月27日就任
	平成11年 6月29日重任
	平成11年 7月 7日登記
	平成11年 8月 2日辞任
<u>横浜市青葉区新石川二丁目17番地22</u> 代表取締役 日 沖 昭	平成11年 8月 9日登記
<u>東京都練馬区小竹町二丁目77番1号</u> 代表取締役 小 野 寺 正	平成 9年 6月27日就任
<u>東京都練馬区小竹町二丁目77番1号</u> 代表取締役 小 野 寺 正	平成11年 6月29日重任
	平成11年 7月 7日登記
<u>千葉県船橋市夏見台三丁目10番3棟305号</u> 代表取締役 種 野 晴 夫	平成10年 6月26日就任
<u>千葉県船橋市夏見台三丁目10番3棟305号</u> 代表取締役 種 野 晴 夫	平成11年 6月29日重任
	平成11年 7月 7日登記

東京都千代田区一番町8番地
株式会社ディーディーアイ
会社法人等番号 0199-01-021485

東京都大田区田園調布一丁目50番3号 代表取締役 牛尾治朗	平成12年 4月 5日就任
	平成12年 4月 6日登記
<u>滋賀県草津市川原一丁目4番3号</u> <u>代表取締役</u> 山本正博	平成12年 4月 5日就任
	平成12年 4月 6日登記
東京都杉並区阿佐谷北一丁目32番10-103号 代表取締役 山本正博	平成12年 5月 4日住所移転
	平成12年 7月 6日登記
東京都目黒区緑が丘一丁目17番9号 代表取締役 西本正	平成12年10月 2日就任
	平成12年10月 2日登記
愛知県豊田市平戸橋町平戸5番地6 代表取締役 土居正雄	平成12年10月 2日就任
	平成12年10月 2日登記
川崎市麻生区高石五丁目21番13-5号 代表取締役 酒井進児	平成12年10月 2日就任
	平成12年10月 2日登記
東京都日野市南平九丁目33番地の50 代表取締役 岩崎欣二	平成12年10月 2日就任
	平成12年10月 2日登記
<u>監査役</u> 森 篤	平成 9年 6月27日就任
監査役 森 篤	平成12年 6月28日重任
	平成12年 7月 6日登記
<u>監査役</u> 穂積 繁 廣	平成10年 6月26日重任
	平成12年 9月30日辞任
	平成12年10月 2日登記
監査役 杉田玄太郎	平成10年 6月26日重任

東京都千代田区一番町8番地
株式会社ディーディーアイ
会社法人等番号 0199-01-021485

	<u>監査役</u>	<u>松 本 善 臣</u>	平成10年 6月26日重任	
			平成12年 9月30日辞任	
				平成12年10月 2日登記
	<u>監査役</u>	<u>照 井 利 明</u>	平成12年10月 1日就任	
			平成12年10月 2日登記	
	<u>監査役</u>	<u>安 藤 理</u>	平成12年10月 1日就任	
			平成12年10月 2日登記	
<u>監査役</u>	<u>奥 田 碩</u>	平成12年10月 1日就任		
		平成12年10月 2日登記		
吸収合併	東京都新宿区西新宿二丁目3番2号 ケイディディ株式会社 東京都千代田区六番町6番地 日本移動通信株式会社を合併 平成12年10月 2日登記			
登記記録に関する事項	平成元年法務省令第15号附則第3項の規定により 平成11年 5月20日移記			

これは登記簿に記録されている閉鎖されていない事項の全部であることを証明した書面である。

平成12年10月17日

東京法務局
登記官

立 花 宣



整理番号 ク521537

* 下線のあるものは抹消事項であることを示す。

13/13

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2000-157154
受付番号	10001980226
書類名	出願人名義変更届（一般承継）
担当官	喜多川 哲次 1804
作成日	平成13年 1月12日

<認定情報・付加情報>

【提出された物件の記事】

【提出物件名】	権利の承継を証明する書面	1
---------	--------------	---

特2000-157154

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000001214]

1. 変更年月日 1998年12月 3日
[変更理由] 名称変更
住 所 東京都新宿区西新宿2丁目3番2号
氏 名 ケイディディ株式会社

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000208891]

1. 変更年月日 1990年 8月31日
[変更理由] 新規登録
住 所 東京都千代田区一番町8番地
氏 名 第二電電株式会社
2. 変更年月日 2000年10月 5日
[変更理由] 名称変更
住 所 東京都千代田区一番町8番地
氏 名 株式会社ディーディーアイ
3. 変更年月日 2001年 4月 2日
[変更理由] 名称変更
住 所 東京都新宿区西新宿二丁目3番2号
氏 名 ケイディーディーアイ株式会社